



65歳以上の接種対象者の皆さんへ

肺炎球菌ワクチン接種を
2月から再開します！

令和6年度の接種対象の方は、
3月31日(月)までが助成期間となります。
接種をご希望の方は**予約が必要**です。
お早めに当院までご連絡ください。
電話：0859-82-1235 (代表)



利用者さんと一緒に
楽しみました！



当院での研修会の様子

令和6年11月8日から9日の2日間、全国から国民健康保険診療施設(以下、国保直診)のリハビリ専門職等が、ホスピタルである日南病院に集結されました。北は秋田県から南は長崎県まで35名の方にご参加いただき、当院の「地域づくりをする医療」というメッセージを込めたプログラムで人材育成にかかわる研修会を行いました。

全国から国保直診のリハビリ専門職等が
日南病院へ集結！



国診協リハビリ部会 中央：当院田辺大起理学療法士(部会長)



全国国民健康保険診療施設協議会
小野 剛 会長



施設見学

▼ **グループワークの成果**
業務の効率化とDXで、患者さんに寄り添える時間をつくり、自由度の高い事業などにより、事業や人をつなぐ・支えるリハビリ専門職となること
が大切。
▼ **国保直診リハは、住民さんを元気にすることが大事。**療法士は黒子。行政とかかわり元気があ地域をつくる。
▼ **心が動けば体が動く。**仕掛けづくりによって住民さんと集いの場などの、つながりを強めていくことが大切。健康に寄与することができれば国全体として価値ある仕事ができる。(一部抜粋)



グループワーク

▼ **まとめ**
全体を通じて皆さん積極的に受講され大変熱量のある研修会となりました。グループワークの成果を見ると地域に積極的にかかわっていく方向性が示され、国保直診のリハ職のブランドが示されたように思います。当院でも積極的に取り入れて活動していきたいと思えます。

▼ **国保直診とは**
当院のように、国民健康保険の保険者である日南町が法律上の保健事業を行う病院や診療所などの医療施設のことです。
▼ **国診協とは**
全国国民健康保険診療施設協議会の略で、国保直診の全国組織として、当院も加盟しています。
全国国保学会、研修会の開催、調査研究事業の実施等様々な活動を行っています。

- **2日間のプログラム**
- ① 開会式
 - ② 名誉院長講演
 - ③ リハ科活動紹介
 - ④ 施設見学
 - ⑤ 町長講演
 - ⑥ 日南町観光
 - ⑦ 情報交換会(交流会)
 - ⑧ 活動研究(グループワーク)
 - ⑨ 講評
 - ⑩ 閉会式

■ **リハビリ専門職の人材育成にかかわる研修会**
持続可能な医療介護を提供する地域社会への道を切り開く
〜10年後を見据えたりハビリ専門職の可能性〜

予約・変更の電話は
午後2時〜5時の間に
お願いします

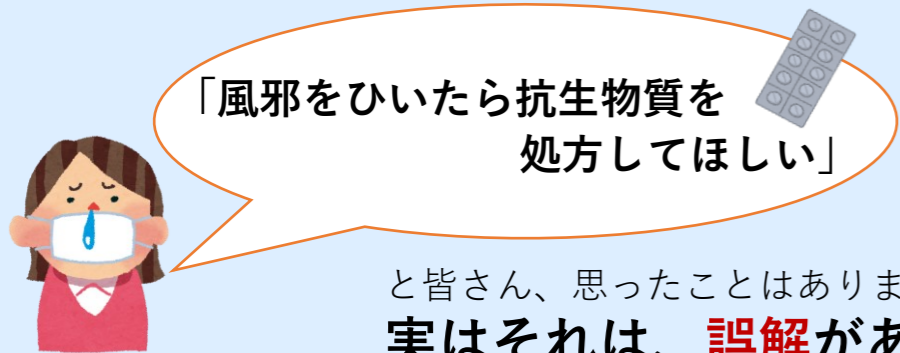
令和6年4月1日～		月	火	水	木	金
内科	一診(予約制)	澤田	谷口	上平	谷口	上平
	二診(予約制)	浜田	高見	吉田	浜田	高見
	三診(予約なし)	吉田	上平	大塚	鳥大(澤田)	谷口
	専門外来(予約制)	浜田 (ペースメーカー チェック)			鳥大 (PM:禁煙外来) (PM:物忘れ外来)	門脇 (糖尿病内科)
外科	午前	平岡	菅村	平岡	菅村	平岡
	午後	菅村	菅村	鳥大	菅村	菅村
整形外科(予約優先)						鳥大
小児科		鳥大			鳥大	
第3火曜(PM)は小児循環器						
耳鼻咽喉科					鳥大	
眼科(予約優先)				鳥大		鳥大
皮膚科			池原			
内視鏡・エコー(予約制)			吉田	澤田		

巡回診療 2月19日(水)受付時間:14時～15時30分 つるぎ会館(上萩山) 診察のない方もぜひお越しください

- ・診療 9:00～12:00(開扉7:30、受付8:00～11:30)
- ・整形外科、眼科は**予約優先**になっていますので、当日受診希望の方は、来院前に電話をお願いします。
- ・**発熱やかぜ症状、嘔吐等がある方は必ず事前に電話でご相談ください。**
- ・感染症対策のため病棟への面会は**予約制**(事前に主治医の許可が必要)です。オンライン面会などの方法がありますので、ご希望の方は病院看護師に電話でご相談ください。
- ・小児科の診療がない曜日(平日時間内)でも、**内科3診にて受診が可能**です。まずはお電話でご相談ください。

住民さんからの意見の中で「日南病院では風邪で受診した際、抗生物質をもらえなかった」という不満をお聞きますが、どうして処方してもらえないのか、吉田先生教えてください！

「風邪」に抗生物質(抗菌薬)？



内科医師 吉田 諒
よしだりょう

と皆さん、思ったことはありませんか？
実はそれは、誤解があります。

「風邪」の原因の8～9割はウイルスと言われています。
一方で、**抗生物質(抗菌薬)は細菌に対する薬であり、ウイルスには全く効果がありません。**

そのため「風邪」に抗生物質(抗菌薬)を使っても、症状を改善する効果は乏しい場合が多いです。

では、抗生物質(抗菌薬)を不必要に使うと何が問題なのでしょうか？

不必要な抗生物質(抗菌薬)使用の問題点	
1	副作用のリスク 抗生物質(抗菌薬)を使用することで下痢、アレルギー反応といった副作用が起きる可能性があります。
2	薬剤耐性菌の増加 抗生物質(抗菌薬)の不適切な使用により、このような菌が増えると、いざというときに抗生物質(抗菌薬)が効かなくなり、 治療が難しくなる恐れがあります。



基本的に「風邪」を治すためには下記の3点が大切です。

- ① 十分な休養
- ② 水分補給
- ③ 栄養バランスの良い食事

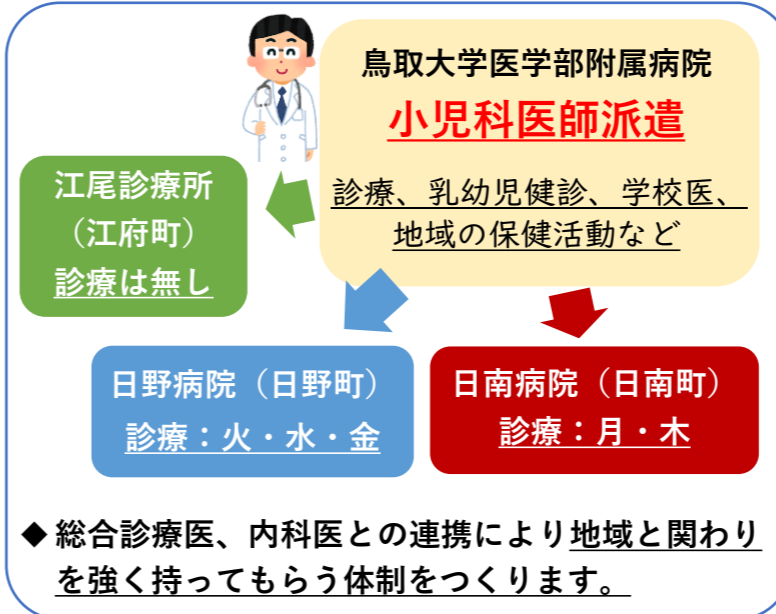
症状が辛い場合は、解熱薬や症状に応じた薬を処方します。

もし高熱が続いたり、症状が悪化したりする場合は
病院へ相談してください。

もしかすると、**本当に抗生物質(抗菌薬)が必要な状況かもしれません。**
それを診断・治療するのが私達(医師)の役割になります。

最後に、本年もどうぞよろしくお願いいたします。
みなさんが健康に過ごせますように。

子育て世帯の皆さんへ お知らせします！



メリットは？

- 派遣医師は固定の2名が交替で1名ずつの勤務を想定しており、日野郡内の小児医療の**かかりつけ医機能の充実**を図ります。
- 平日(月曜日から金曜日)の診療時間内は、日南病院か日野病院で派遣された小児科医師に診てもらうことができます。
- 病院間の患者カルテの共有も図ります。
- 3年間の契約とし、**小児医療体制の安定化**を図ります。

小児科医師派遣の契約を鳥取大学医学部附属病院と日野郡3町で結び共同雇用します

① 令和7年4月から
日野郡内の小児医療を充実します！

町民の皆さんが安心して子育てができる環境をつくっていきます



ホームページ
診療体制表

- 【初診外来の役割】
- ① 定期受診以外の体調不良の対応
 - ② 発熱外来
 - ③ 救急車で搬送された患者の対応
 - ④ 健康診断や人間ドックの二次検診
 - ⑤ **小児科など専門医不在時の相談や診療**

② 改めて、外来3診(初診外来)の
役割についてご説明します



内科医師 谷口 尚平
たにぐち しょうへい

問 小児も診てもらえますか？
答 月曜、木曜については鳥取大学医学部附属病院から派遣される小児科医師が対応させていただきます。その他の曜日については「内科医」が対応させていただきます。風邪等の感染症が流行する時期ですが、内科医が対応した際もインフルエンザやコロナウイルス等の抗原検査や風邪等の処方を行うことができます。状態によって対応が難しい場合は小児科受診を勧めさせていただく場合もございますが、まずはお気軽にご相談ください。

問 誰が診療を担当しますか？
答 内科の医師が担当します。
(詳しくは診療体制表をご確認ください)

問 予約は必要ですか？
答 予約は不要ですが、お待ちいただく可能性がありますので、事前に連絡をいただいた方がスムーズに診療に案内させていただくことができます。
(発熱外来は事前のご連絡が必要です。)